

保育園での英語活動

保育園での英語活動は、基本的には幼稚園と同じように行います。歌を歌ったり、踊ったり、絵本を読んだりしながら、たくさんの英語に触れています。



この写真は忍者のようにつま先立ちで歩く練習をしているところです。

保育園や幼稚園の一番素晴らしいところは、園児が怖がらないということです。すべての経験が新しい経験のため、英語だけでなく日本語の学習も皆おなじところからの挑戦ができます。頭がやわらかいので、活動の中で英語を簡単に吸収することができ、成長に合わせて英語を習得していくことができます。



まずは、「Stand up! Let's start English! (起立！さあ英語の授業をはじめましょう！)」
「OKAY!(はい！)」というように、係の園児に英語の授業のはじめかたを教えます。
はじめは少し怖いかもかもしれませんが、皆が交代で行う、とても良い経験です。また、授業の終わりに
は、「Let's finish!(さあ授業を終わらしましょう！)」
「OKAY!(はい！)」
「See you!(さようなら!)」というように
終わりの挨拶をします。日本語の挨拶と似ていますので、園児も理解することができます。



私にとって、英語を教える時に大切なことは、園児に繰り返して言わせるだけの授業にならないようにすることです。この写真は、「お元気ですか？」という質問に対して、「私は眠いです。」と答える練習をしているところです。質問の意味が分からなかったり、答え方が分からないときに、そのまま質問を繰り返してしまうことがあります。保育園や幼稚園、小学校1年生から3年生くらいまでのあいだは、このような簡単で良く使う表現を勉強する一番良い時期だと思います。この園児たちは皆、「お元気ですか？」という質問に、「私はハッピーです。」「私はおなかがすいています。」「私は眠いです。」「私は暑いです。」と自信を持って言うことができます。一度にたくさんのことを教えるのではなく、少しずつバリエーションを増やしていきます。また覚えやすくするために、答えるときにはジェスチャーをつけるようにします。一年の終わりには、「お元気ですか？」の質問に、10通りの答え方ができるようになります。



私たちは毎日の活動の中で、たくさんの英語を使います。この写真は、「Run/走る」「Walk/歩く」「Stand up/立つ」「Sit down/座る」「Stop/止まる」の練習をしているところです。これらは、良く使う言葉とジェスチャーです。これらの単語を勉強するときも、体を動かしながら行います。



これは、教育実習の先生と一緒に「Jump/跳ぶ」の練習をしているところです。園児たちはまだ「跳ぶ」という言葉を学んでいるところなので、床に色のついたテープを貼って、着地の目印にします。この活動は、園児たちが縄跳びを学ぶ時にも役立ちます。

残念ながら今回は写真がありませんが、この他に絵本の読み聞かせの活動もあります。

私は、保育園での英語活動をとっても楽しんでます。小学校で行っている活動を、保育園の英語活動に少し取り入れたり、逆に小学校で保育園の活動を参考にしたりしながら、工夫して授業を組み立てています。